
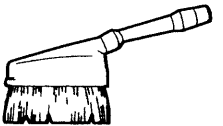
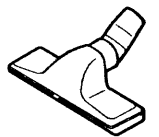
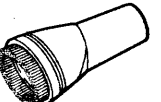



別売り部品

日立の家電取扱店でお求めください。
価格には消費税は含まれておりません。(価格は平成12年6月現在)

<p>●バックフィルター 抗菌防臭3層クリーンバックフィルター GP-75F (5枚入り) 標準価格 ¥700(税別)</p> 	<p>●はたき吸口 (D-H1)</p>  <p>標準価格 ¥3,800 (税別)</p>	<p>●ふとん用吸口 (G-50)</p>  <p>標準価格 ¥1,500 (税別)</p>
<p>バックフィルターは機能部品です。当社純正以外のバックフィルターを使用した場合、モーターの発煙・発火が発生するおそれがあります。当社純正以外のバックフィルターを使用した場合、バックフィルターに関する掃除機の性能・品質の不良は保証できません。日立掃除機には、必ず日立製の純正バックフィルターをご使用ください。</p>	<p>●柵用自在吸口 (U-37)</p>  <p>サービスパーツ CV-F170T-603とご指定ください。 標準価格 ¥900 (税別)</p>	<p>●防臭クリーンフィルター</p>  <p>サービスパーツ CV-V50-002とご指定ください。 標準価格 ¥500 (税別)</p>

●上記標準価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

電源	100V 50-60Hz共用	寸法	長さ295mm×幅264mm×高さ223mm (本体のみ)
消費電力	1000W～約300W	質量	4.5kg (標準付属品を含む)
吸込仕事率	530W～約 80W	標準付属品	クルッとヘッド、ホース……………各1個 延長管……………1本
運転音	60dB～約54dB	付属応用部品	すき間用兼サッシ用吸口……………1個
集じん容積	1.8L		

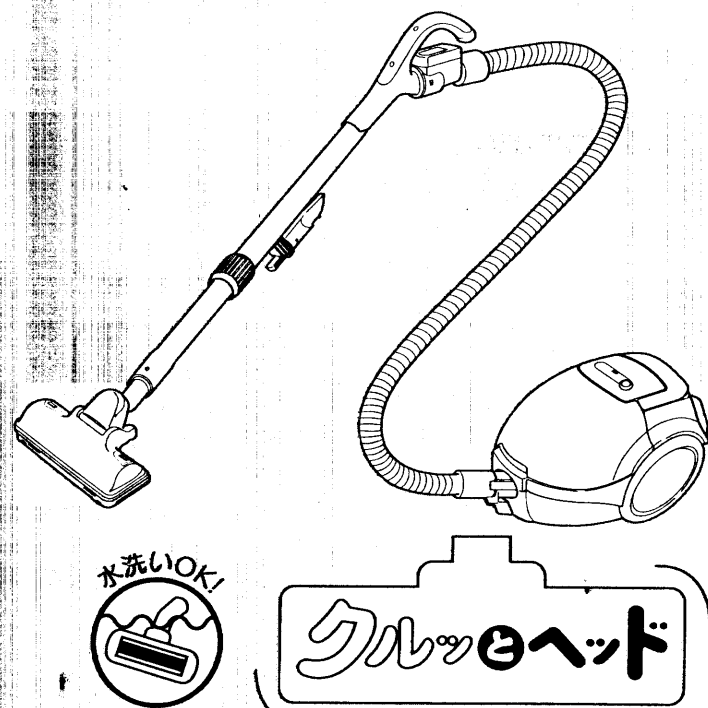
お客様メモ 後日のために記入しておいてください。 サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。	購入店名	電話
	ご購入年月日	平成 年 月 日

 株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

取扱説明書

HITACHI

日立掃除機 CV-V51



このたびは日立掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- クルッとヘッドは水洗いできますが、その他の部分は水洗いできません。お読みになったあとは、保証書・ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

もくじ

	ページ
安全上のご注意	2
各部のなまえと準備	4
操作のしかた	6
ゴミすてサインと保護装置について	7
上手なお掃除のしかた	7
ごみがたまったら	8
スタンド収納	8
お手入れ	9
故障かなと思ったら	10
アフターサービスと保証について	11
別売り部品	12
仕様	12



安全上のご注意

必ずお守りください




●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。





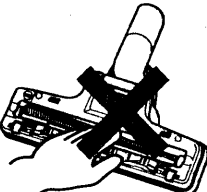
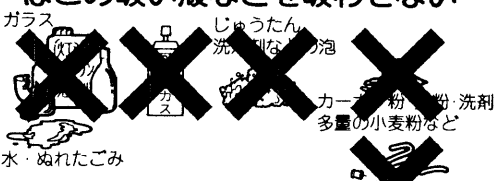

★ここに示した注記事項は


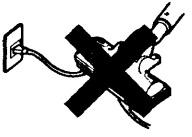



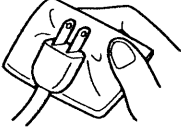


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

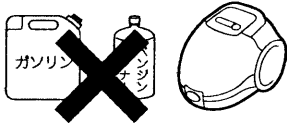

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	必ず実行していただく「強制」内容のものです。

警告	
<p> 絶対に分解したり修理・改造しない 分解禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電・けがの原因になります。 ●修理は販売店、またはメーカー指定のお客様ご相談窓口にご相談ください。 	<p> 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う 100V 15A以上</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
<p> お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く また、ぬれた手で抜き差ししない</p>  <p>ぬれた手はふいてから</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電やけがをすることがあります。 	<p> クルッとヘッドの回転部分には触れない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●手などをけがをすることがあります。
<p> 灯油、ガソリン、可燃性ガス、たばこの吸い殻などを吸わせない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●火災や爆発の原因になります。 	<p> 水洗いや風呂場での使用は絶対にしない 水ぬれ禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●感電する場合があります。 ●クルッとヘッドは水洗いできます。

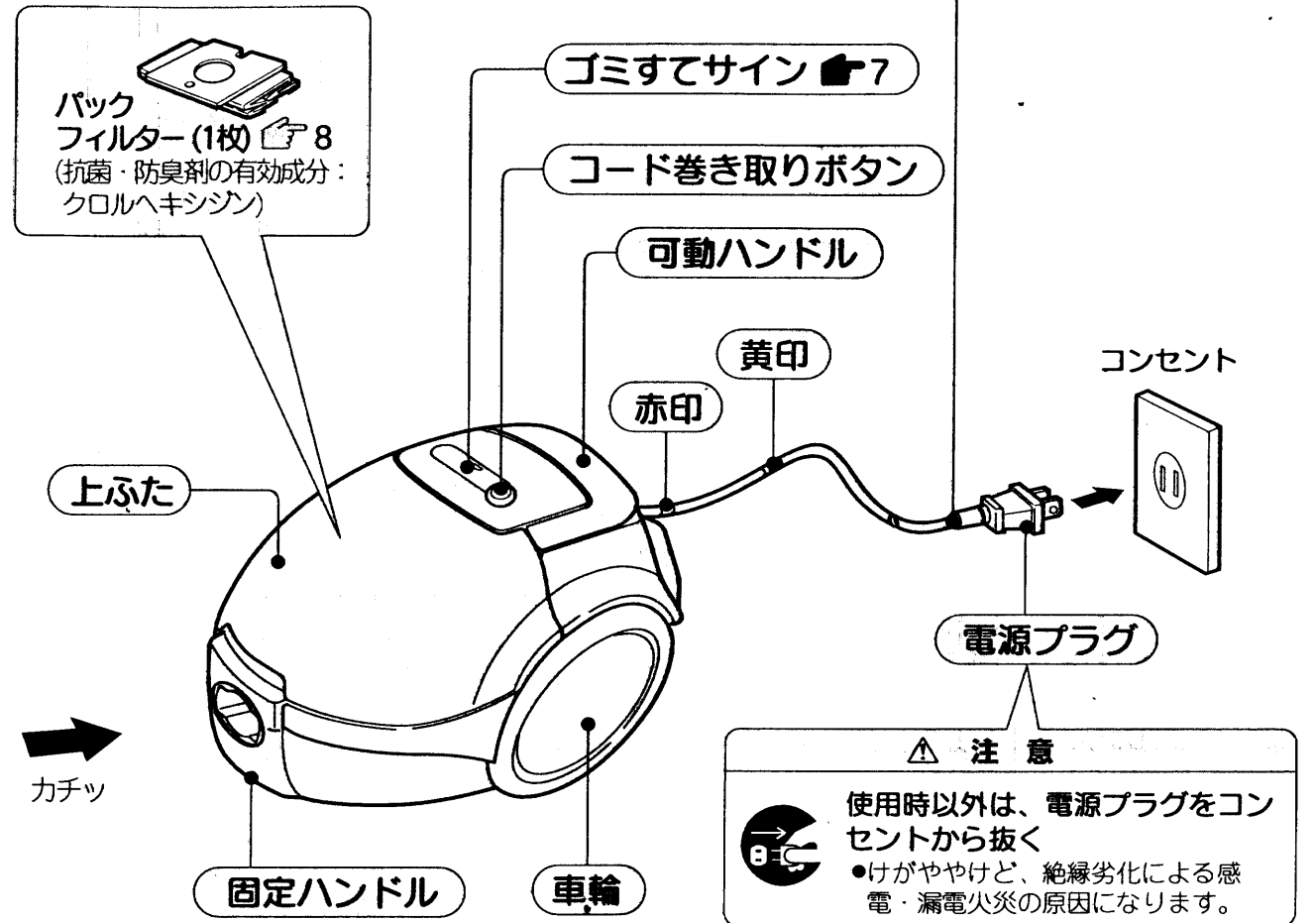
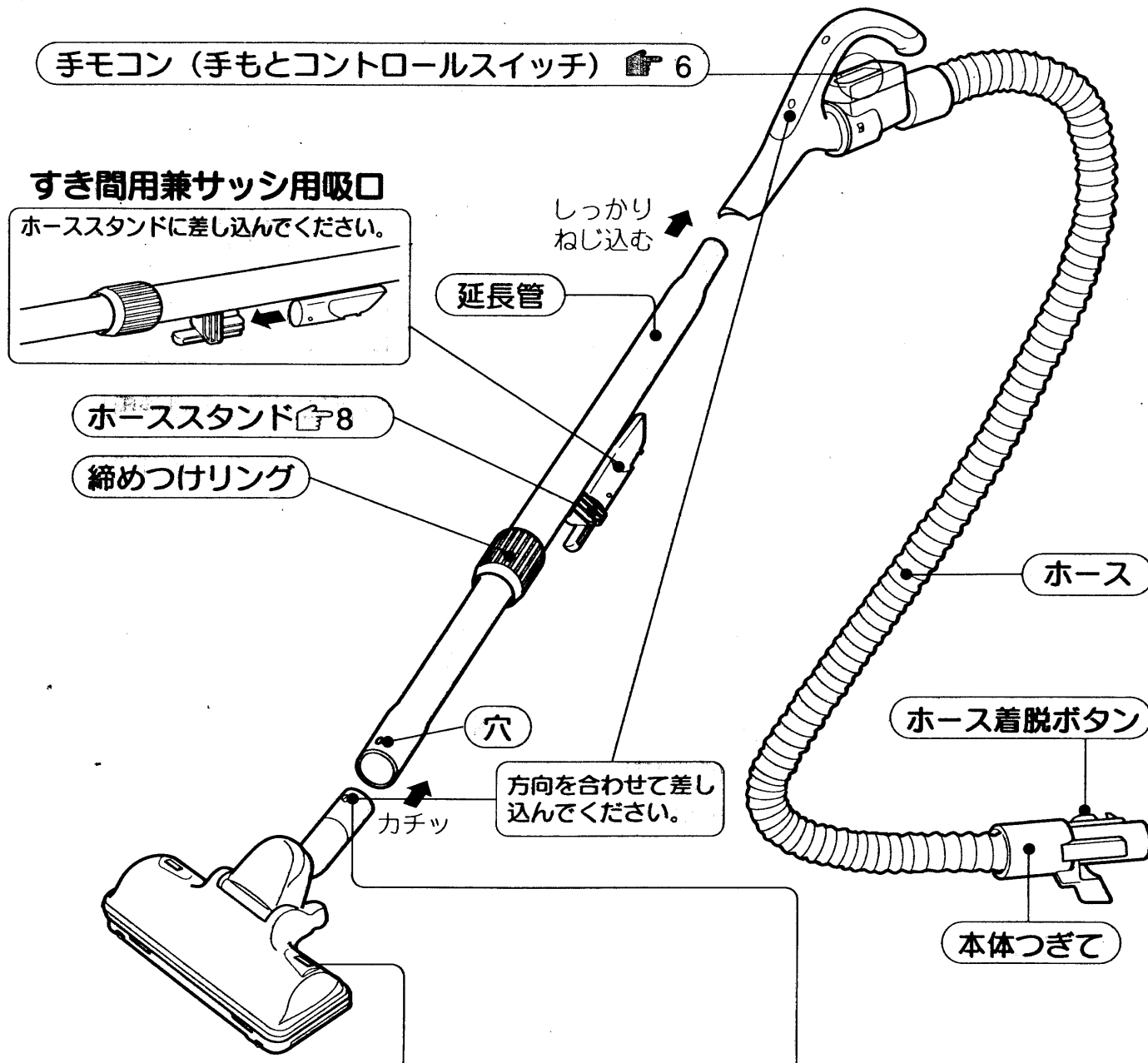
警告	
<p> コードを回転部分に巻き込まない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●コードの損傷により感電することがあります。 	<p> 電源コードを傷つけない 傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
<p> 電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る 清掃</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。 	<p> 傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●感電・ショート・発火の原因になります。

注意	
<p> 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 電源プラグ持ち</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●感電やショートして発火することがあります。 	<p> 排気口をふさがない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因になります。
<p> コードを巻き取るときは電源プラグを持つ 電源プラグ持ち</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが当たってけがをすることがあります。 	<p> 吸込口をふさいで長時間運転しない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●過熱による本体の変形・発火の原因になります。
<p> 引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)の近くで使用しない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●爆発や火災の原因になります。 	<p> 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 電源プラグ持ち</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
<p> 火気に近づけない 火気禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●本体の変形によるショート・発火の原因になります。 	<p> 本体に乗らない 禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●転倒してけがをすることがあります。

各部のなまえと準備

下図の部品があることを確認してください。

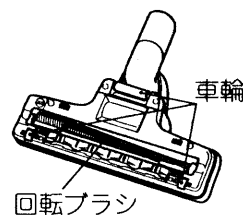
(☛のあとの数字は主な説明のあるページです)



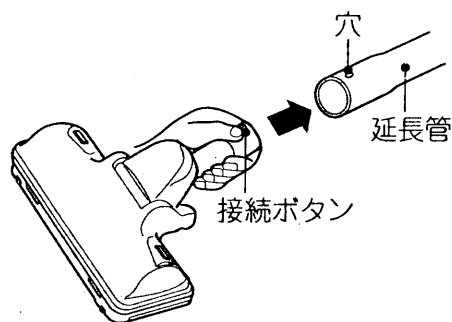
各部のなまえと準備

クルツとヘッド(☛6)

- じゅうたんのお掃除はクルツとヘッドを前後にゆっくり動かします。引くときにごみがよく取れます。
- 回転ブラシの軸受部に注油しないでください。
- 手モコンのスイッチを「強」「中」で使用してください。



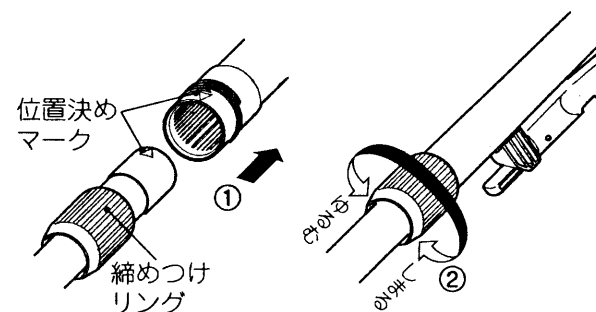
接続ボタン



- 接続ボタンの頭を押しながら、穴に確実にはめ込みます。
- 取り外しはボタンを押しながら、延長管をねじり、引き抜きます。

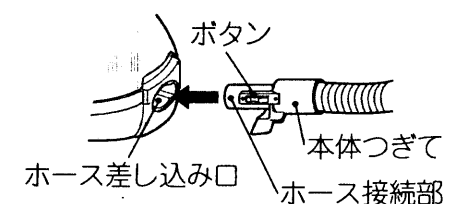
延長管

- ①位置決めマークを合わせて差し込みます。
- ②使いやすい長さに調節し、締めつけリングを回して固定します。



ホース差し込み口

- ホース差し込み口とホース接続部を合わせて押し込みます。



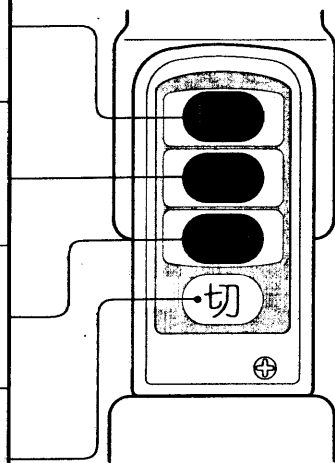
- 外すときはボタンを押しながら抜きます。
- ご注意**
- ホースを外したまま運転しないでください。モーター故障の原因になります。また、保護装置が働いて運転を停止することがあります。☛7

操作のしかた

ゴミすてサインと保護装置について

手モコンについて

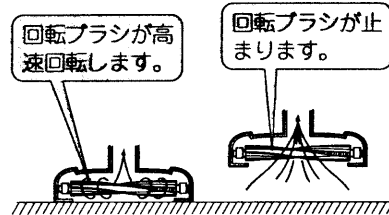
スイッチ	こんなお掃除に	
強	<ul style="list-style-type: none"> じゅうたんなどのしつこい汚れや、重いごみのお掃除に 	
中	<ul style="list-style-type: none"> じゅうたんやゆか、たたみの通常のお掃除に 	
弱	<ul style="list-style-type: none"> 静かにお掃除したいときに ソファやいすなどのお掃除に 	
切	<ul style="list-style-type: none"> 掃除機の運転が止まります。 	



クルッとヘッドの回転ブラシについて

クルッとヘッドを持ち上げたときは、静かにするため回転ブラシは止まります。(ゆっくり回る場合もあります)

- 回転ブラシはゆか・たたみ上でも回転します。(止まる場合もあります)



- ご注意**
- じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが回りにくくなることがあります。このときは、**強** に切り換えてください。たつまき旋回流による巻き上げ力でごみを吸い込みます。
 - 薄いカーペットなどが吸いついて、ごみが取れにくいときは、カーペットの隅を押さえ、吸いつかないようにしてお掃除してください。

クルッとヘッドの動きについて

通常のお掃除

手もとをひねると、クルッとヘッドの向きが変わります。

壁際や狭いところのお掃除

左右どちらの方向にも動かせます。

浮き上がらないようにして使用してください。

ご注意

- クルッとヘッドをゆか面に強く押しつけると、ゆかに傷をつけることがありますので、注意してください。
- クルッとヘッドが汚れたときは、すき間用兼サッシ用吸口などで、お掃除してください。汚れがひどいときは水洗いしてください。☞9

ゴミすてサイン

ゴミすてサインが点滅した場合には、パックフィルターを交換してください。☞8

<ゴミすてサインの確認のしかた>

- クルッとヘッドをゆかから浮かせて、スイッチを「強」にし、ゴミすてサインを確認してください。

ご注意

- 次のときは、ごみの量に関係なくゴミすてサインが点滅することがありますが、使用上支障はありません。
 - すき間用兼サッシ用吸口をご使用のとき吸口を外して確認してください。
 - 弱運転のときスイッチを「強」にして確認してください。
- 細かい砂ごみなどが多い場合パックフィルターがいっぱいにならなくても、ゴミすてサインが点滅することがあります。
- 綿ごみやじゅうたんのあそび毛などが多い場合パックフィルターがいっぱいになっても、ゴミすてサインが点滅しないことがあります。
- 定期的にパックフィルターを確認してください。

保護装置

ゴミすてサインのランプが点滅したままお使いになると、モーターの過熱防止のため保護装置が働いて、本体の運転が自動的に停止することがあります。

<処置のしかた>

- 保護装置が働いたときは、
 - 電源プラグを抜く
 - パックフィルターを交換する ☞8
 - 約1時間待って使用する

保護運転

- 本体の温度が高くなったときは、モーターの過熱防止のため自動的に電力を抑える保護運転になることがありますが、そのまま使用できます。

上手なお掃除のしかた

階段	家具と家具のすき間
<p>階段などせまい場所では、本体を立てて使うと便利です。</p> <p>●本体の落下や、コードの傷つきにご注意ください。</p>	<p>手もとのひねりでクルッとヘッドの向きを調節すると、狭い場所にも吸口が届きます。</p>
お部屋の隅や壁際	テーブルの下
<p>壁際にクルッとヘッドの向きを合わせて、縦向きにお掃除すると便利です。</p>	<p>手もとのひねりでクルッとヘッドをコントロールすると家具などを移動しなくてもお掃除できます。</p>

ごみがたまったら

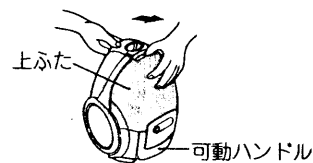
パックフィルターの交換
 ・パックフィルター(別売り部品 12)

お手入れ

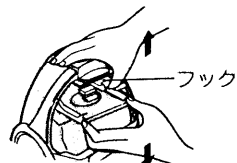
ごみの捨てかた

(最初に本体からホースを取り外してください)

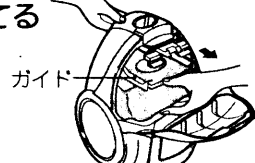
1 本体を立てて、可動ハンドルを倒した状態で上ふたを開く



2 パックフィルターをフックから取り外す



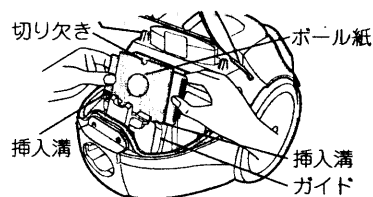
3 パックフィルターをガイドから引き出して捨てる



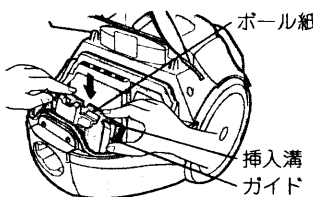
ご注意 ・ごみがこぼれないよう、静かに取り出してください。(モーター部にゴミが侵入し、故障の原因になります。)

取り付けかた

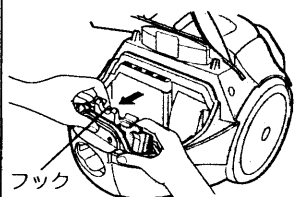
1 ボール紙の切り欠きを上にして、ガイドの挿入溝にボール紙を合わせる



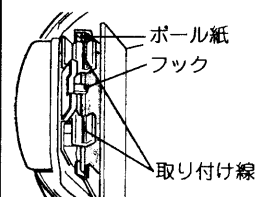
2 ボール紙をガイドの挿入溝に沿って矢印の方向に押し込む



3 ボール紙を両手で押し付け、フックのつめに確実にひっかける



取り付け状態 (ボール紙をフックの取り付け線に合わせる)



4 可動ハンドルを倒した状態で上ふたを閉める

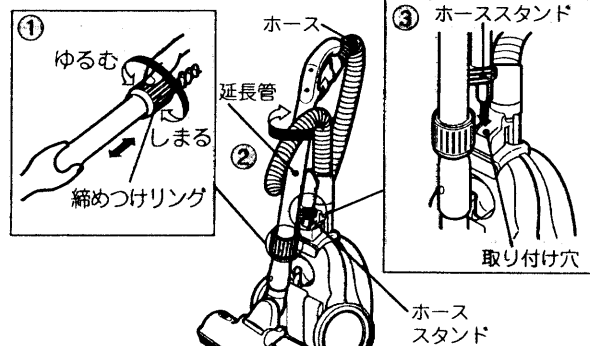


ご注意

- ・パックフィルターを取り付けしないで、上ふたを閉めようとしても閉まりません。無理に押さえると、上ふたが破損するおそれがあります。
- ・破れたパックフィルターや繰り返し使用はしないでください。ごみがモーターに入り故障の原因になります。
- ・パックフィルターは機能部品です。当社純正以外のパックフィルターを使用した場合、モーターの発煙・発火が発生するおそれがあります。当社純正以外のパックフィルターを使用した場合、パックフィルターに関する掃除機の性能・品質の不良は保証できません。日立掃除機には、必ず日立製の純正パックフィルターをご使用ください。

スタンド収納

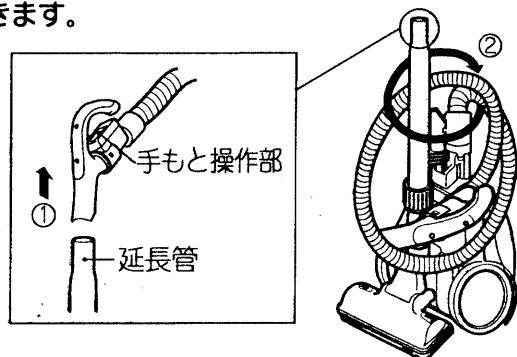
簡単収納



- ① 締めつけリングをゆるめて、延長管を縮める
- ② 延長管を1回転させ、ホースを巻きつける
- ③ 取り付け穴にホーススタンドを差し込む

コンパクト収納

簡単収納から、さらにコンパクトに収納できます。



- ① 手もと操作部を延長管から外す
- ② 延長管にホースを巻きつける

ご注意 ・スタンド収納状態のまま持ち運ばないでください。(ホースや延長管が外れた場合危険です)

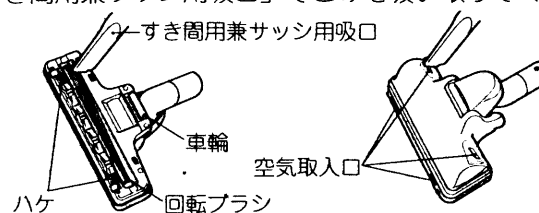
警告

BC お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
 また、ぬれた手で抜き差ししない
 ・感電やけがをすることがあります。

禁止 クルツとヘッド以外の部分は絶対に水洗いしない
 ・感電する場合があります。

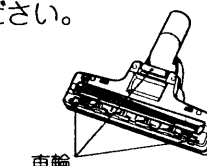
クルツとヘッド

- ・回転ブラシ、ハケ、車輪、空気取入口にごみが付着していると、吸込力低下の原因になります。そのようなときは「すき間用兼サッシ用吸口」でごみを吸い取ってください。



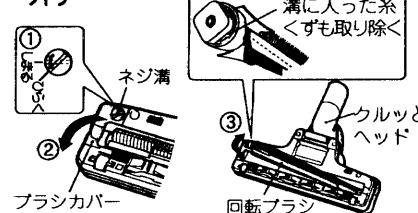
ご注意

- ・車輪が磨耗していると、ゆかを傷つけるおそれがあります。車輪が磨耗しているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。



クルツとヘッド(水洗いのしかた)

1 クルツとヘッドを裏返して、硬貨などで①ネジ溝を「ひらく」に合わせ、②ブラシカバーを外し、③回転ブラシを取り外す



2 クルツとヘッド、ブラシカバー、回転ブラシを水で洗う



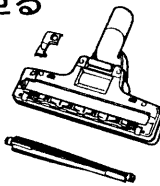
3 水抜き穴を下にし、クルツとヘッドを上下によく振って水を切り、まわりについた水をふきとる



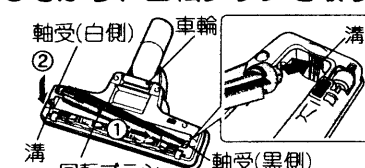
ご注意

- ・洗剤、漂白剤などを使用しないでください。
- ・毛のかたいブラシで洗わないでください。

4 クルツとヘッド、ブラシカバー、回転ブラシを陰干しにして、十分に乾燥させる



5 クルツとヘッド、ブラシカバー、回転ブラシ、車輪が十分に乾燥したのを確認してから、回転ブラシを取り付ける

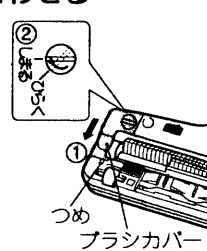


ご注意

- ・ドライヤー、暖房器などで乾燥させないでください。

- ・クルツとヘッドを裏返して、①軸受(黒側)を入れてから、②軸受(白側)を溝に入れます。
- ・軸受に注油しないでください。

6 ブラシカバーのつめを引っ掛けて閉め、硬貨などでネジ溝を「しめる」に合わせる



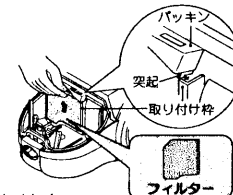
防臭クリーンフィルター

・フィルターの防臭効果は使用頻度によって異なりますが約1年半です。

通常は交換の必要はありませんが、次のようなときは防臭クリーンフィルターを交換してください。

- ・パックフィルターを交換しても吸込力が弱かったり、ゴミすてサインが点滅する場合
- ・パックフィルターを交換しても保護装置が働かず、本体が停止する場合

- ① フィルターを取り出す
- ② パッキンをめくり上げ、新しいフィルターを元どおり本体の取り付け枠内に取り付ける
- ③ パッキンの突起を取り付け枠内に差し込む

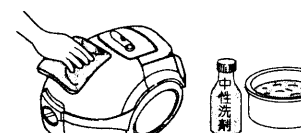


ご注意

- ・水洗い、掃除などのお手入れはできません。
- ・交換用の防臭クリーンフィルターは、販売店で買い求めください。12

本体・付属品

水または中性洗剤を含ませた、やわらかい布をよく絞ってからふく



ご注意

- ・ベンジン、シンナーなどは、変色、変形などの原因となりますので、使用しないでください。

故障かなと思ったら

- 異常が生じたときは、修理を依頼される前に次の点検をしてください。
点検の前に必ず電源プラグを抜いてください。

こんなときは	調べるところ	直しかた
モーターが回らない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●ホースが本体に完全に差し込まれていますか。	ホースをしっかりと差し込んでください。
	●保護装置が働いて運転が停止していませんか。	電源プラグを抜いてパックフィルターを交換し約1時間後にご使用ください。☞7
クルットとヘッドの回転ブラシが回らない	●回転ブラシ、軸受、空気取り入れ口にごみなどが絡みついていますか。	「お手入れ」☞9をご覧ください、ごみなどを取り除いてください。
	●床面から浮いていませんか。	床面から離すとブラシは止まります。☞6
吸込力が弱い	●パックフィルターが目詰まりしていませんか。	「ごみがたまったら」☞8をご覧ください、新しいものと交換してください。
	●フィルターが汚れていませんか。	「お手入れ」☞9をご覧ください、フィルターを新しいものと交換してください。
	●ホースやつぎてにごみが詰まっていますか。	ホースやつぎてのごみを取り除いてください。
	●クルットとヘッドにごみが詰まっていますか。	「お手入れ」☞9をご覧ください、ごみを取り除いてください。
コードが全部入らない、または引き出せない	●コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。コード巻き取りボタンを押しながら、コードを黄印まで引き出してよじれを直したあと、もう一度巻き込んでください。	
排気や本体が暖くなる(特に夏場)	●空気の流れてモーターを冷却しているため、暖くなるのは異常ではありません。	
電源コード引き出し口などから風が出る	●空気の流れて電気部品を冷却しているため、異常ではありません。	

アフターサービスと保証について

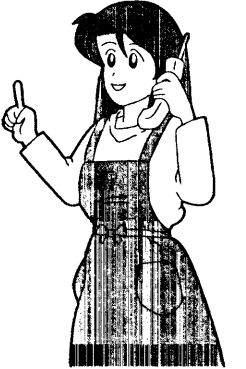
使用中に異常が生じたときは

この取扱説明書をよくお読みのうえ、「故障かなと思ったら」☞10の点検をしていただき、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理なさらないで買い上げの販売店にご相談ください。

- アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店が別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。
- 修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、付属品(ホース、延長管、クルットとヘッド)もごいっしょにお持ちください。

アフターサービスをお申しつけのときお知らせください。

- 1 形名—CV-V51
- 2 症状—できるだけ詳しく



保証について

この商品は保証書付きです。

- 保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますから、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

転居される場合

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- コードを折り曲げると、通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常があるとき。

ご使用中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。